

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会 認知症ケアと薬剤師の役割

(2019年4月28日 日曜日)東京開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号P02)を取得しております。】

認知症には様々な病態があり、地域で活躍するには知識だけでなくアセスメントから支援まで、他職種との連携をとりながら係わっていく必要があります。本研修会では、認知症の診断と治療から、認知症のケアと薬剤師の関わりについて幅広く学習します。

(細則による必須領域 : A. B. C. D. F. I. J)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会
2	研修期間	2019年4月28日(日曜日)
3	研修会場	アーバンネット神田カンファレンス 2階2A 〒101-0047 東京都千代田区内神田三丁目6番2号 アーバンネット神田ビル2階 案内図 http://kanda-c.jp/access.html
4	認定単位	薬剤師:4単位(認定薬剤師単位)、医師:5単位(更新のための単位)
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	90名(講義形式)
7	受講申込	締切り:2019年3月27日(水)午後5時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日以内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	11,000円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は9,000円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。

申し込み先 : 日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A 有限会社あゆみコーポレーション内

TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpca@a-youme.jp

プログラム

2019年4月28日(日曜日)

9:00～	受 付
9:20～10:50	<p>「認知症の診断、治療～最近の動向」 講師:竹中秀夫</p> <p>認知症の診断技術は向上しており、ほとんどの原因を特定することができるようになってきた。これに対して、認知症の治療は、一部の認知症を除き、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、脳血管性認知症など患者数が多い認知症の治療や予防は、ほとんど進歩していない。一方で、認知症の進行予防の方法やBPSDへの対処法などには様々な進展があり、本講演ではこれら認知症の診断・治療における最新の知見を紹介、解説する。</p> <p>(細則による必須領域 A. B. C. D. F. I. J)</p>
11:00～12:30	<p>② 「認知症の地域ケア」 講師:石橋幸滋</p> <p>一部の認知症を除き、認知症を治す有効な治療法がない現在、認知症患者やその家族を地域で支えていく地域包括システム(認知症カフェ、認知症サポーター、認知症サポート医、認知症サポート薬剤師、認知症疾患医療センター、認知症グループホームなど)は極めて重要である。このセッションでは、地域にどのような社会資源があり、それをどう活用していけばよいかを学び、薬剤師が地域でどのような役割を担うべきかを考える。</p> <p>(細則による必須領域 A. B. C. D. F. I. J)</p>
12:30～13:20	昼食 (各自でご持参ください)
13:20～14:50	<p>③ 「認知機能の低下と生活障害」 講師:山口智晴</p> <p>認知症になると、ある日を境に「認知症の症状」が出現するのではなく、認知機能の低下と共に徐々に多様な生活上の困りごとが生じます。この生活障害は、原疾患だけでなく、生活習慣や文化、環境など様々な影響を受けます。そして、今までその方が構築してきた周囲の人との関係性にも揺らぎが生じることで、社会生活にも影響が生じてきます。「認知症の対応」ではなく、丁寧に生活障害を評価し、地域生活の継続に向けた支援のスキルを学びます。</p> <p>(細則による必須領域 A. B. C. D. F. I. J)</p>
15:00～16:30	<p>④ 認知症初期集中支援チームの概要と実際 講師:山口智晴 講師:上山真美</p> <p>認知症初期集中支援チームは、認知症の専門チームが認知症に関して困っている本人やご家族を訪問し、適切なアセスメントや家族支援などを包括的・集中的に実施する介護保険による事業で、平成30年度から全市町村で活動が始まりました。モデル事業として全国に先駆けて認知症初期集中支援チームを運営してきた前橋市の経験を基に、認知症の人の地域生活支援について学び、薬剤師の役割について考えます。</p> <p>(細則による必須領域 A. B. C. D. F. I. J)</p>

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

竹中秀夫(医師)	薫風会山田病院認知症疾患医療センター長
石橋幸滋(医師)	石橋クリニック院長 認知症サポート医
山口智晴(作業療法士)	群馬医療福祉大学リハビリテーション学部教授
上山真美(看護師)	群馬県立県民健康科学大学看護学部准教授